

(第1面)

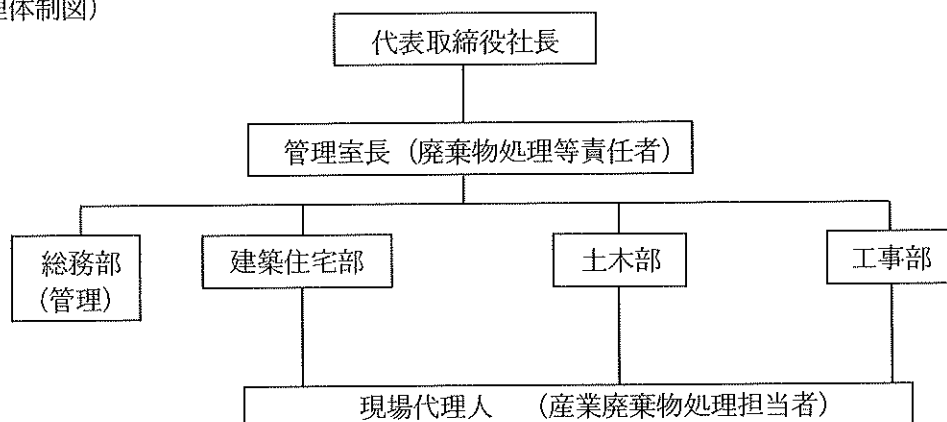
産業廃棄物処理計画書	
令和5年 6月16日	
岩手県知事 達増 拓也 殿	
提出者	
住 所 岩手県北上市九年橋一丁目10番29号	
氏 名 千田工業株式会社	
代表取締役社長 千田 弘美	
電話番号 0197-63-3207	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	千田工業株式会社
事業場の所在地	岩手県北上市九年橋一丁目10番29号
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	売上高32億6200万円 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)
③ 従業員数	75名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	コンガラ・アスコンガラ・金属くず・混合物・水銀使用製品産業廃棄物・繊維くず—委託処理(再生利用) 紙くず・木くず—委託処理(再生利用・焼却) ガラス、陶磁器くず・がれき類・建設汚泥—委託処理(再生利用・埋立) 石綿(安定型)・石綿(管理型)・廃石膏ボード—委託処理(埋立) 廃プラスチック—委託処理(再生利用・焼却・埋立)

(日本工業規格 A列4番)

岩手県  
東部広域振興局  
-5, 6, 19  
花保セ第148-26号

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

別紙のとおり

①現状	【前年度（      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排      出      量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排      出      量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

別紙のとおり

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 別紙のとおり			
①現状	【前年度（          年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 別紙のとおり			
①現状	【前年度（          年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		別紙のとおり	
①現状	【前年度（            年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		別紙のとおり	
①現状	【前年度（            年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

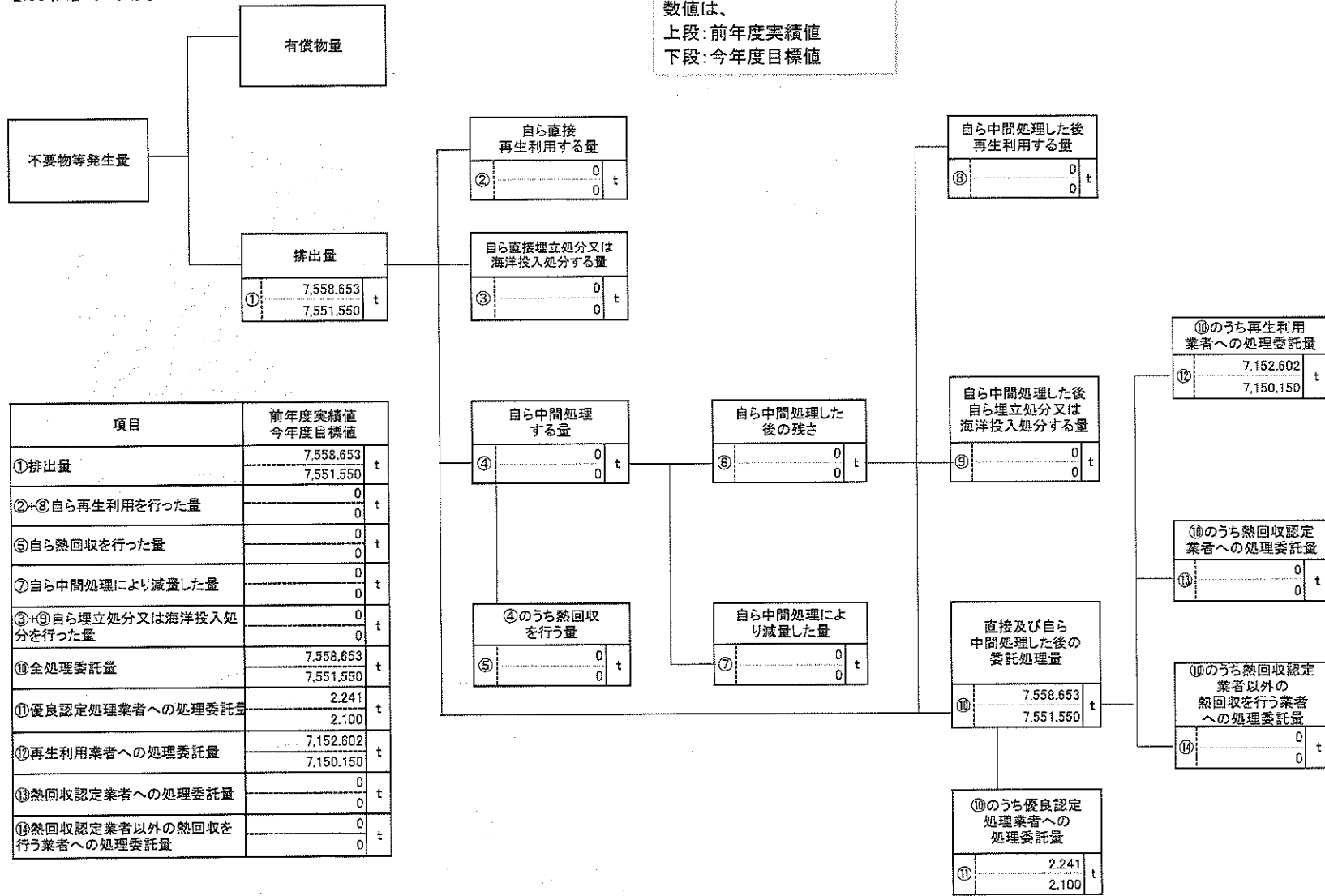
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(産業廃棄物の種類: 合計)

【別紙】今年度の計画

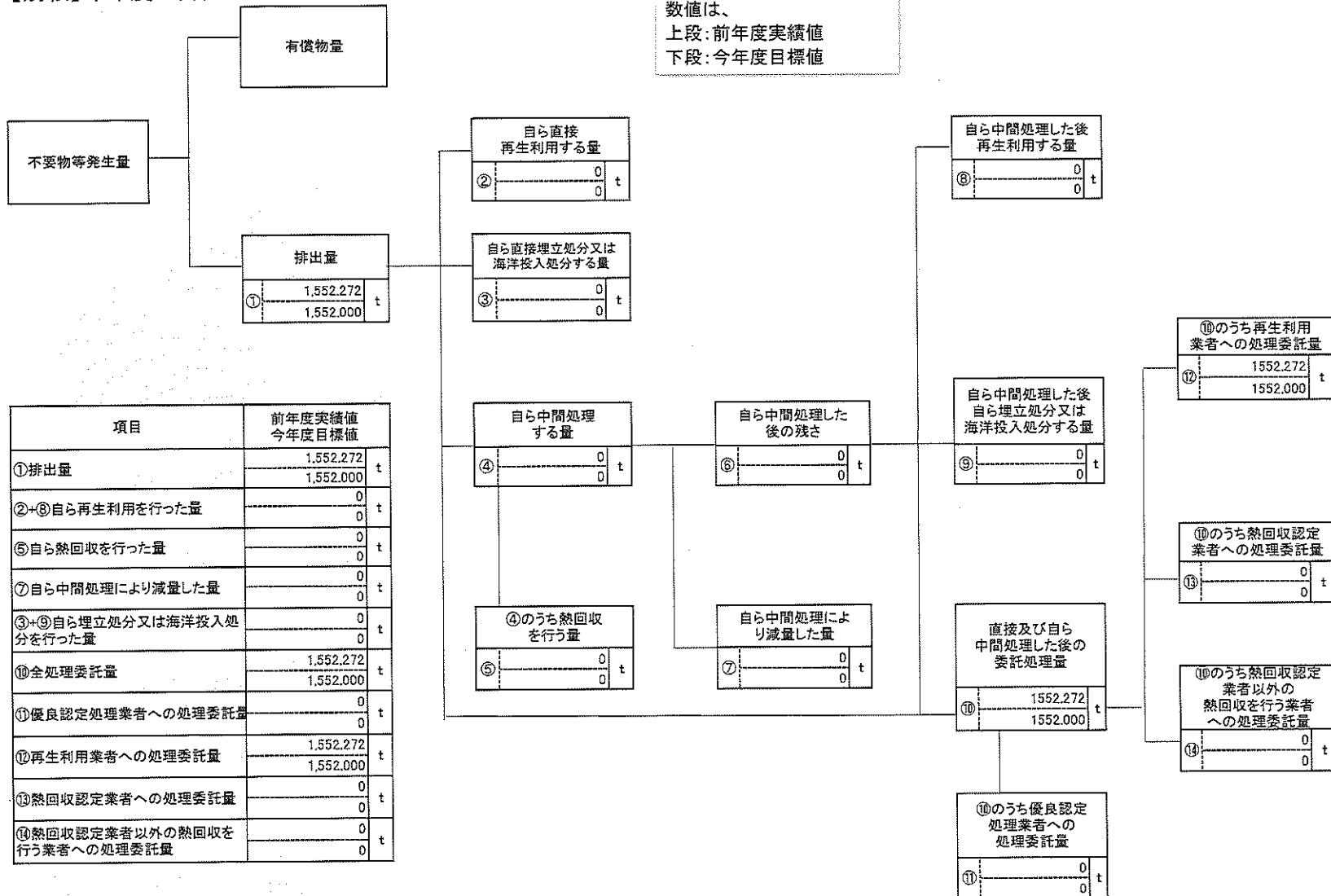
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: コンクリートがら)

【別紙】今年度の計画

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値

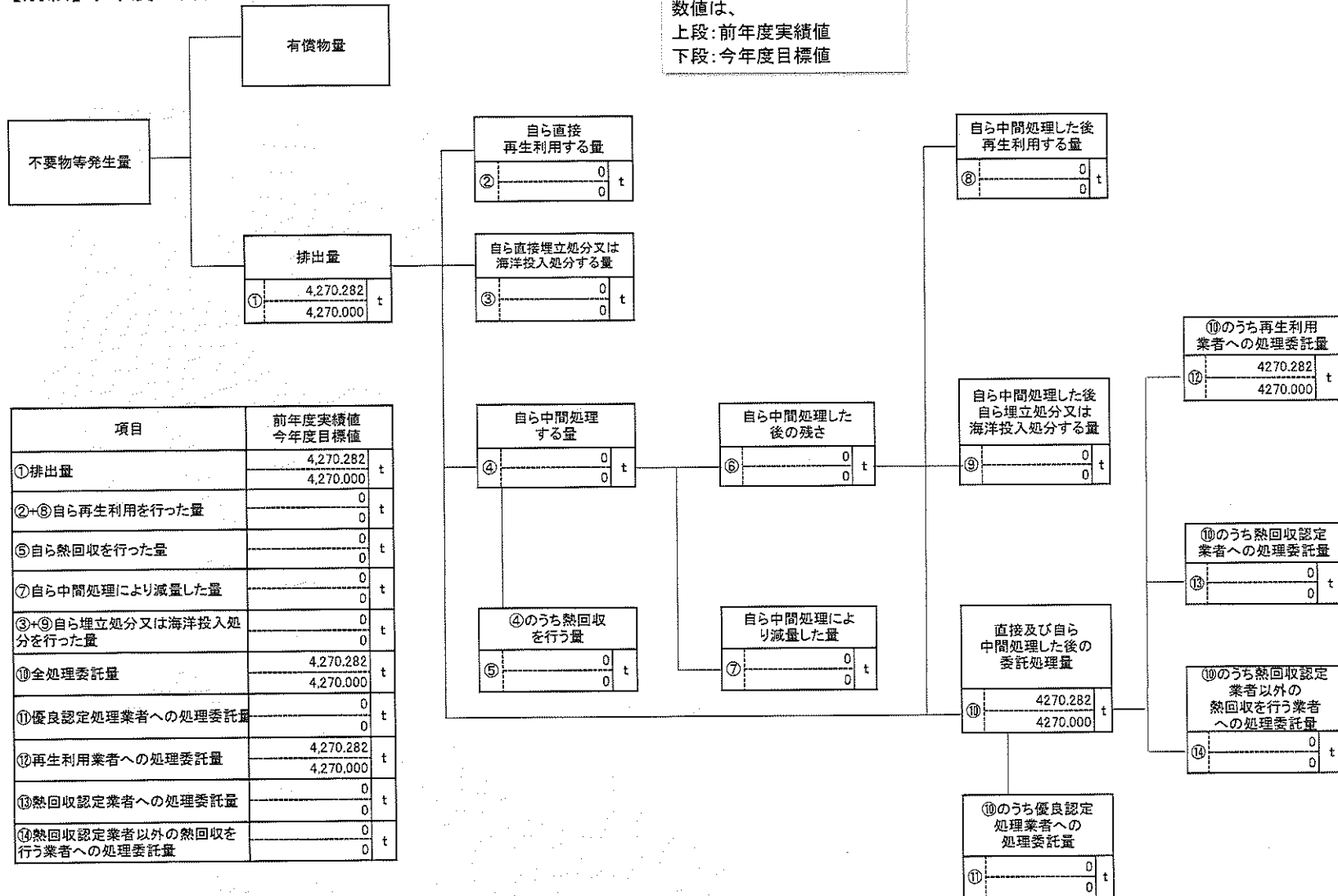




(産業廃棄物の種類: アスコンから)

【別紙】今年度の計画

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



## 3

不要物等発生量

有償物量

排出量

①	133.708	t
	133.000	

数値は、  
上段：前年度実績値  
下段：今年度目標値

項目	前年度実績値 今年度目標値	
①排出量	133.708	t
	133.000	
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	t
	0	
⑤自ら熱回収を行った量	0	t
	0	
⑦自ら中間処理により減量した量	0	t
	0	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	t
	0	
⑩全処理委託量	133.708	t
	133.000	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0	t
	0	
⑫再生利用業者への処理委託量	5.310	t
	5.300	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	t
	0	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t
	0	

自ら直接 再生利用する量		
②	0	t
	0	

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量	
③	0 t

自ら中間処理 する量	
④	0 t
	0

④のうち熱回収 を行う量		
⑤	0	t
	0	

自ら中間処理した 後の残さ		
⑥	0	t
	0	

自ら中間処理により減量した量	
⑦	0 t
	0

自ら中間処理した後 再生利用する量	
⑧	0 t
	0

⑨	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量	0	t
		0	

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量	133.708
⑩	133.000

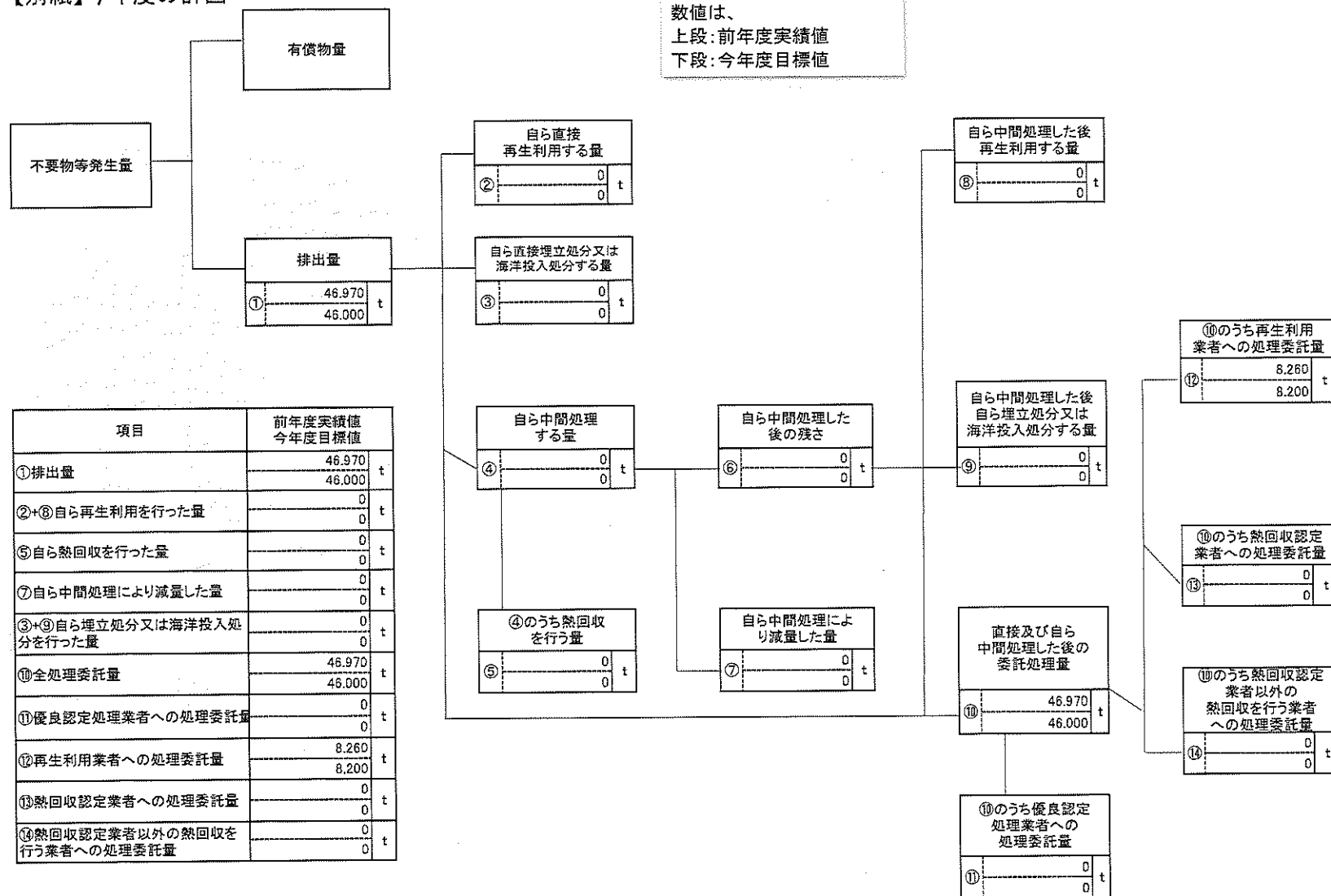
⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	
⑪	0
	0

⑩のうち再生利用業者への処理委託量	
⑫	5.310
	5.300

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	
⑬	0
	0

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
⑭	0
	0

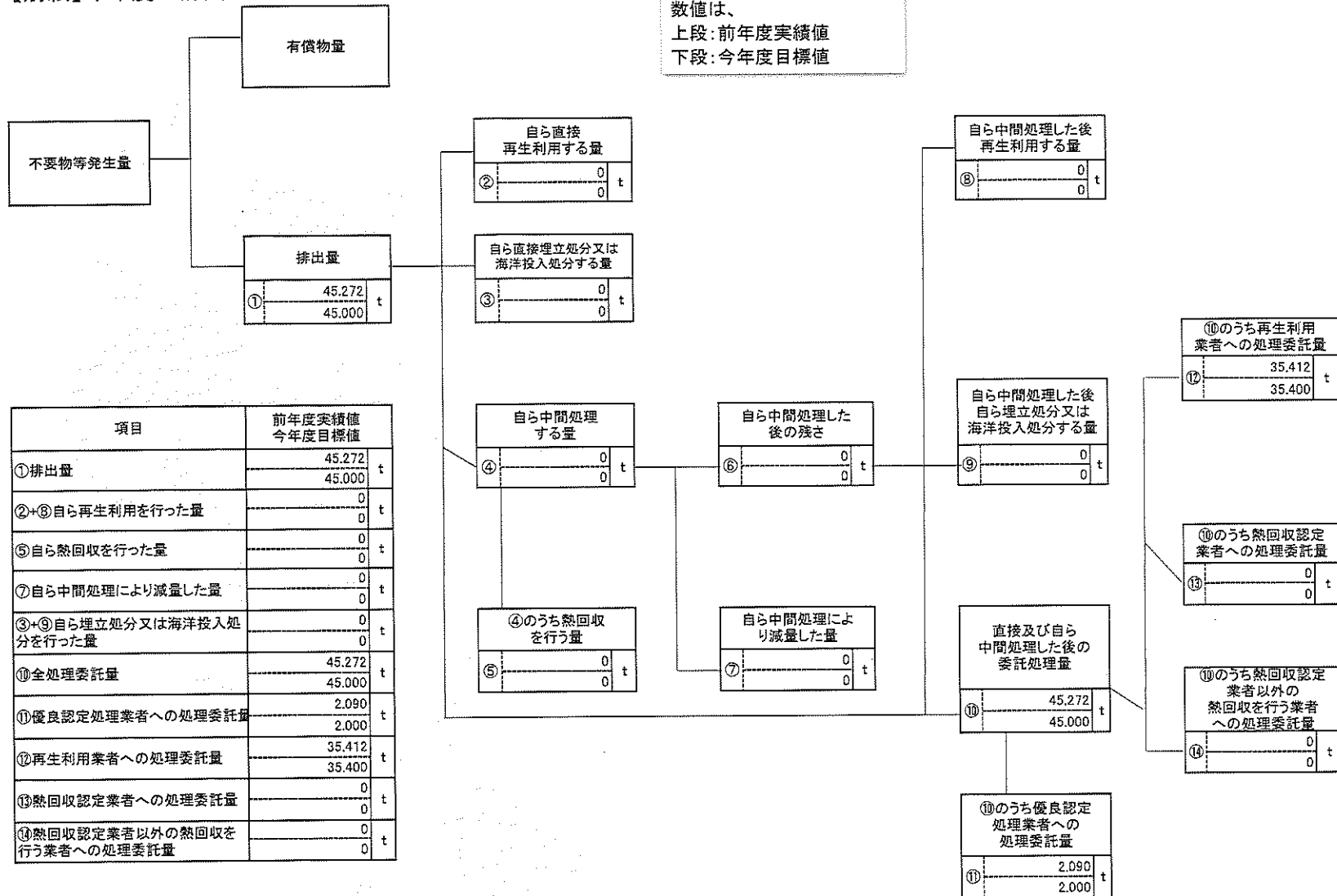
数值は、  
 上段：前年度実績値  
 下段：今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

【別紙】今年度の計画

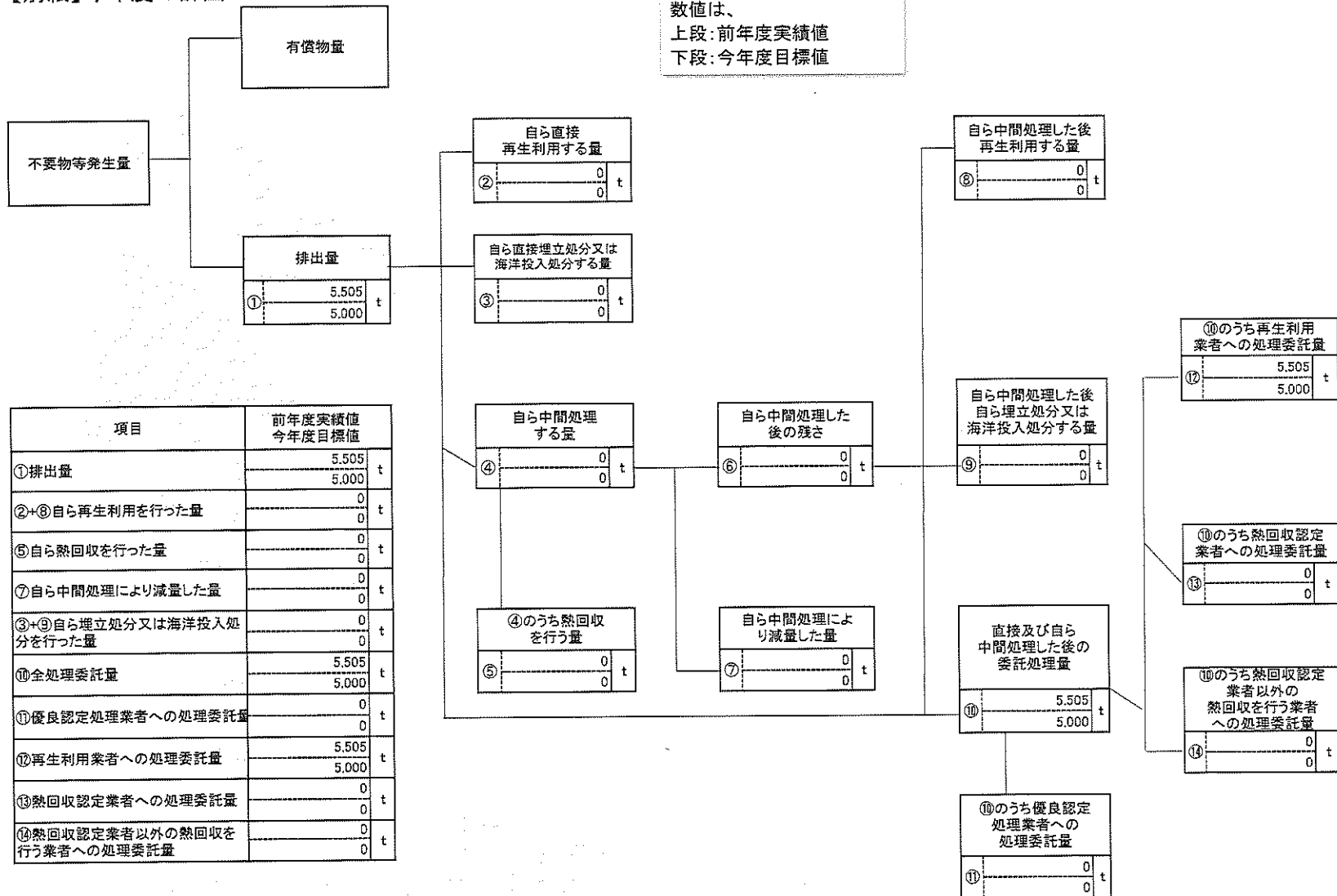
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 金属くず)

【別紙】今年度の計画

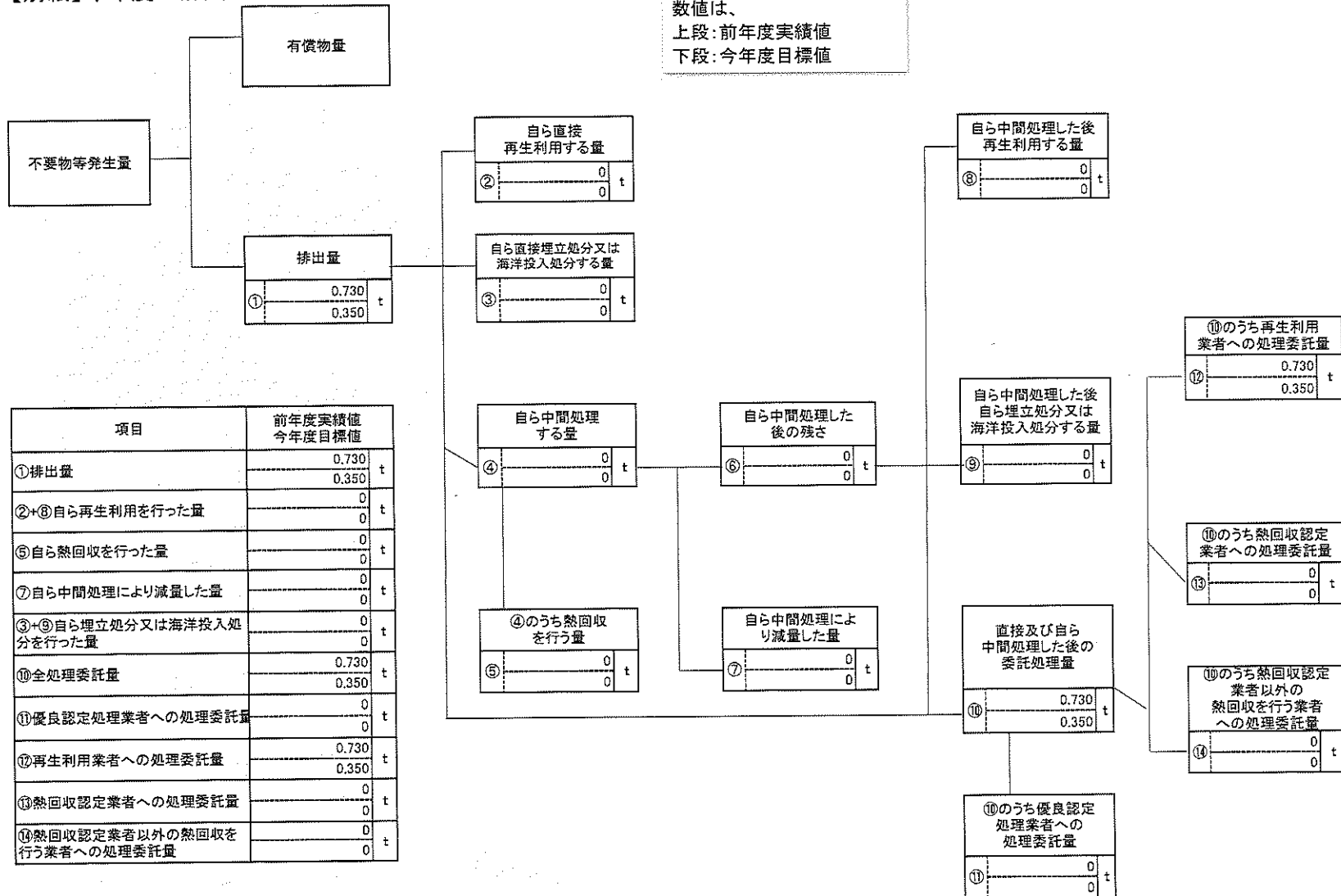
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 繊維くず)

【別紙】今年度の計画

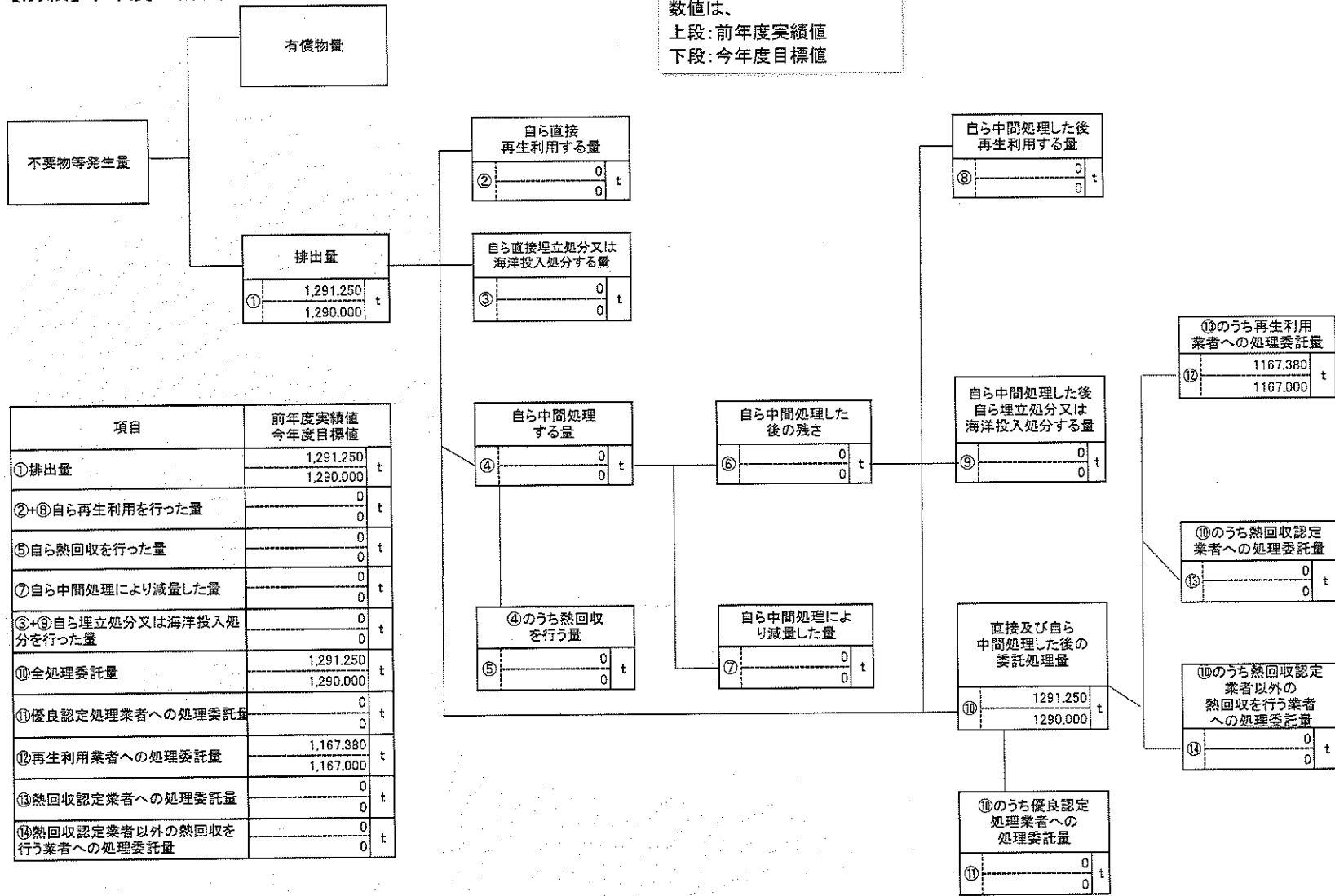
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 建設汚泥)

【別紙】今年度の計画

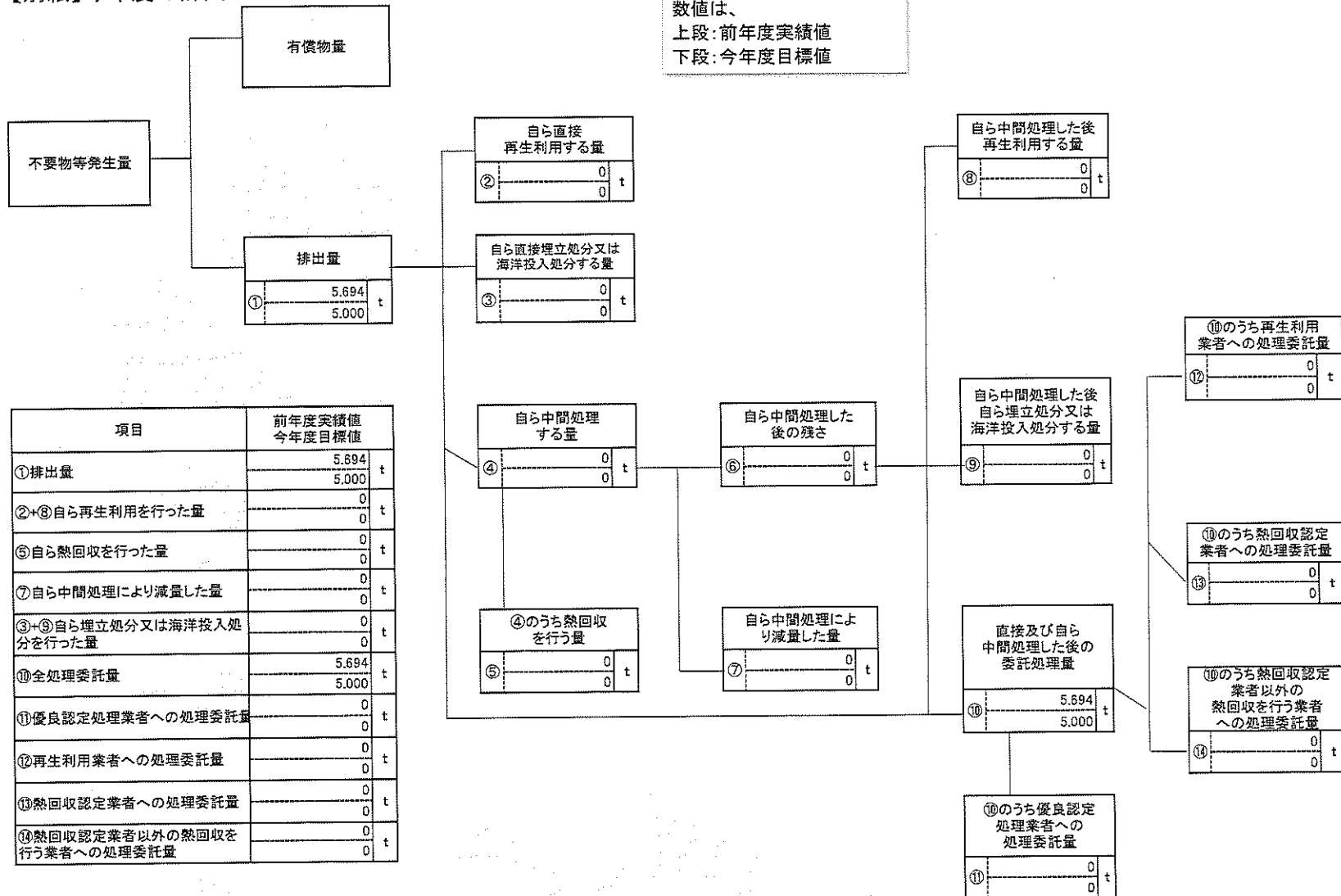
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 安定型石綿含有産業廃棄物)

【別紙】今年度の計画

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値

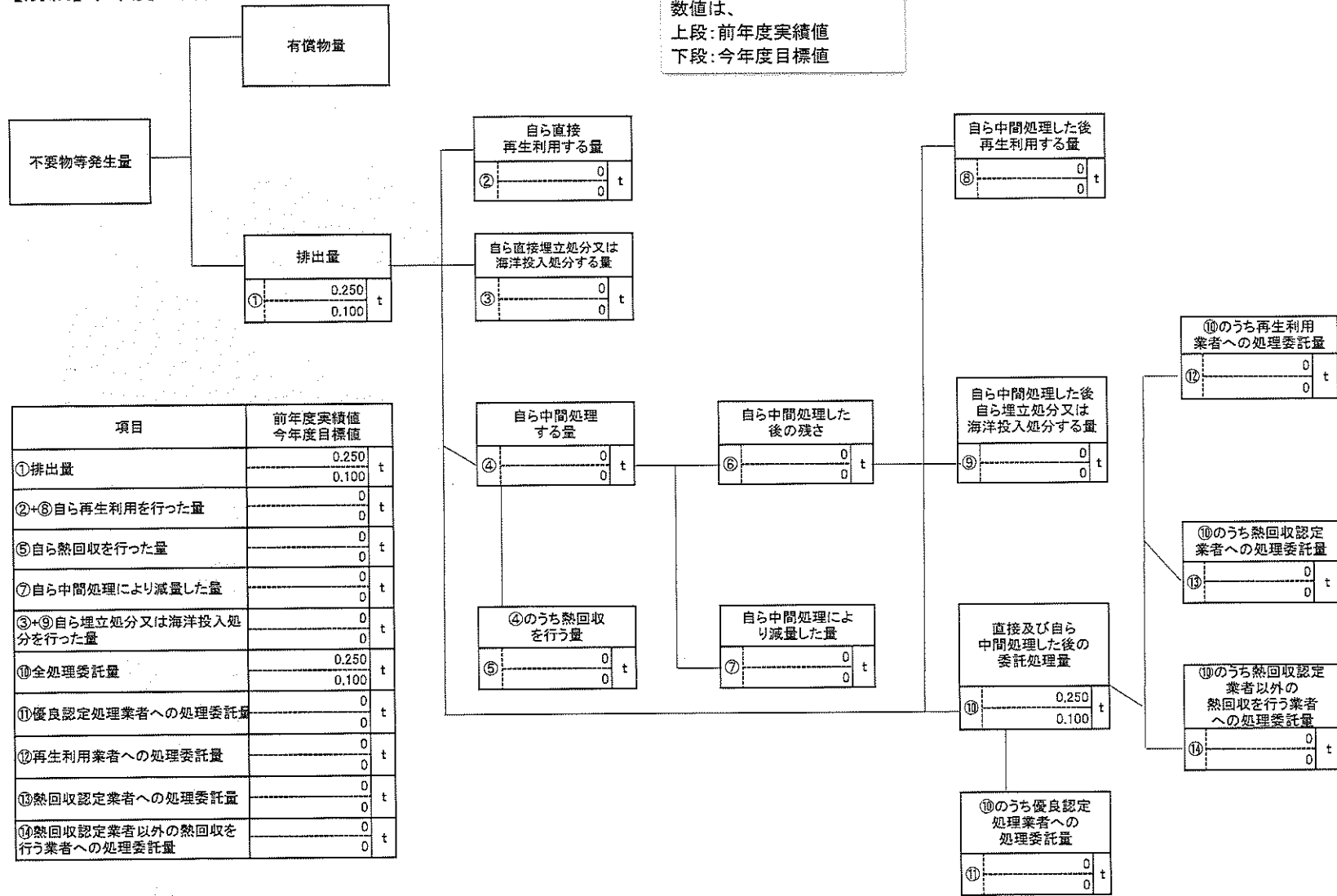




(産業廃棄物の種類: 管理型石綿含有産業廃棄物)

【別紙】今年度の計画

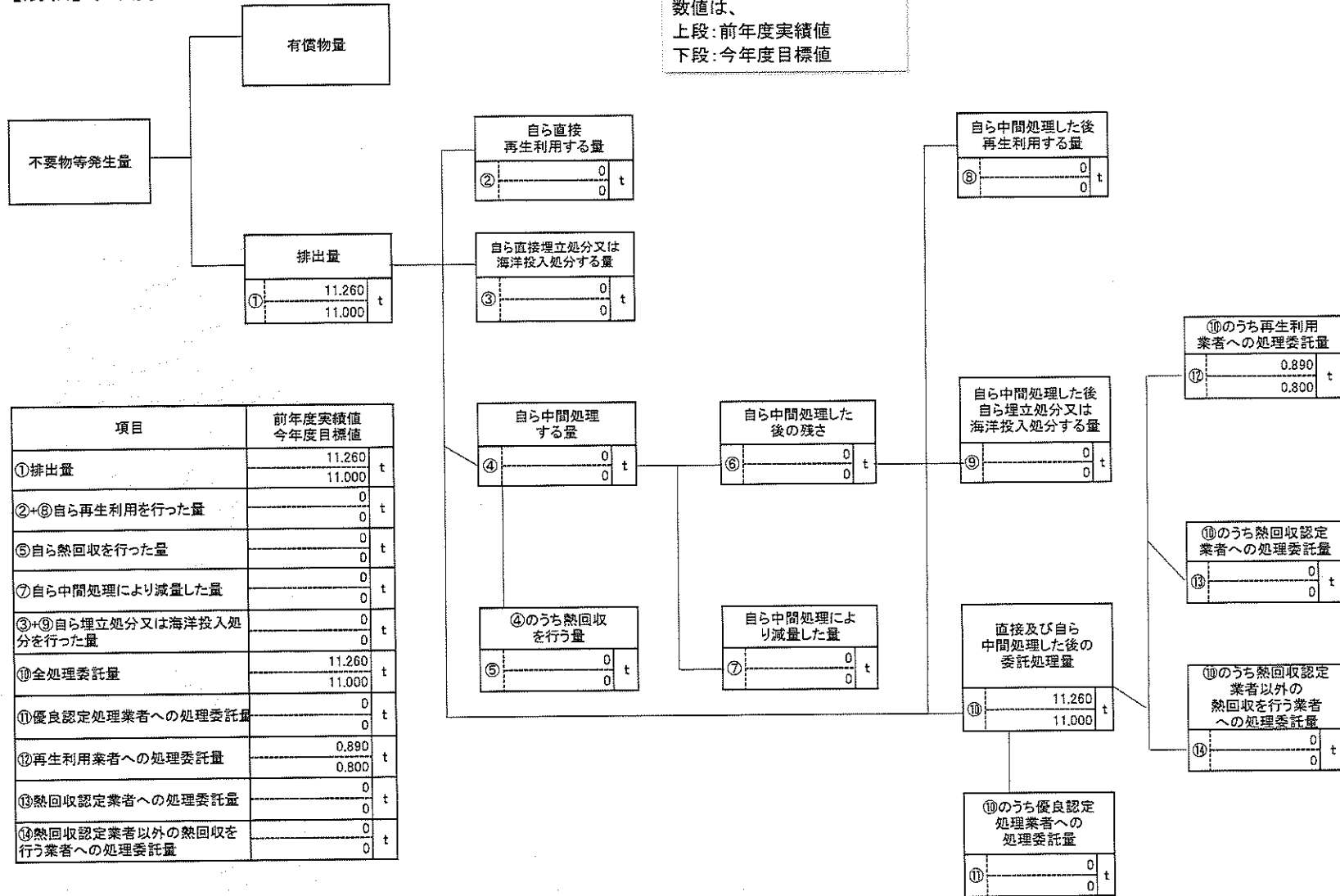
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 紙くず)

【別紙】今年度の計画

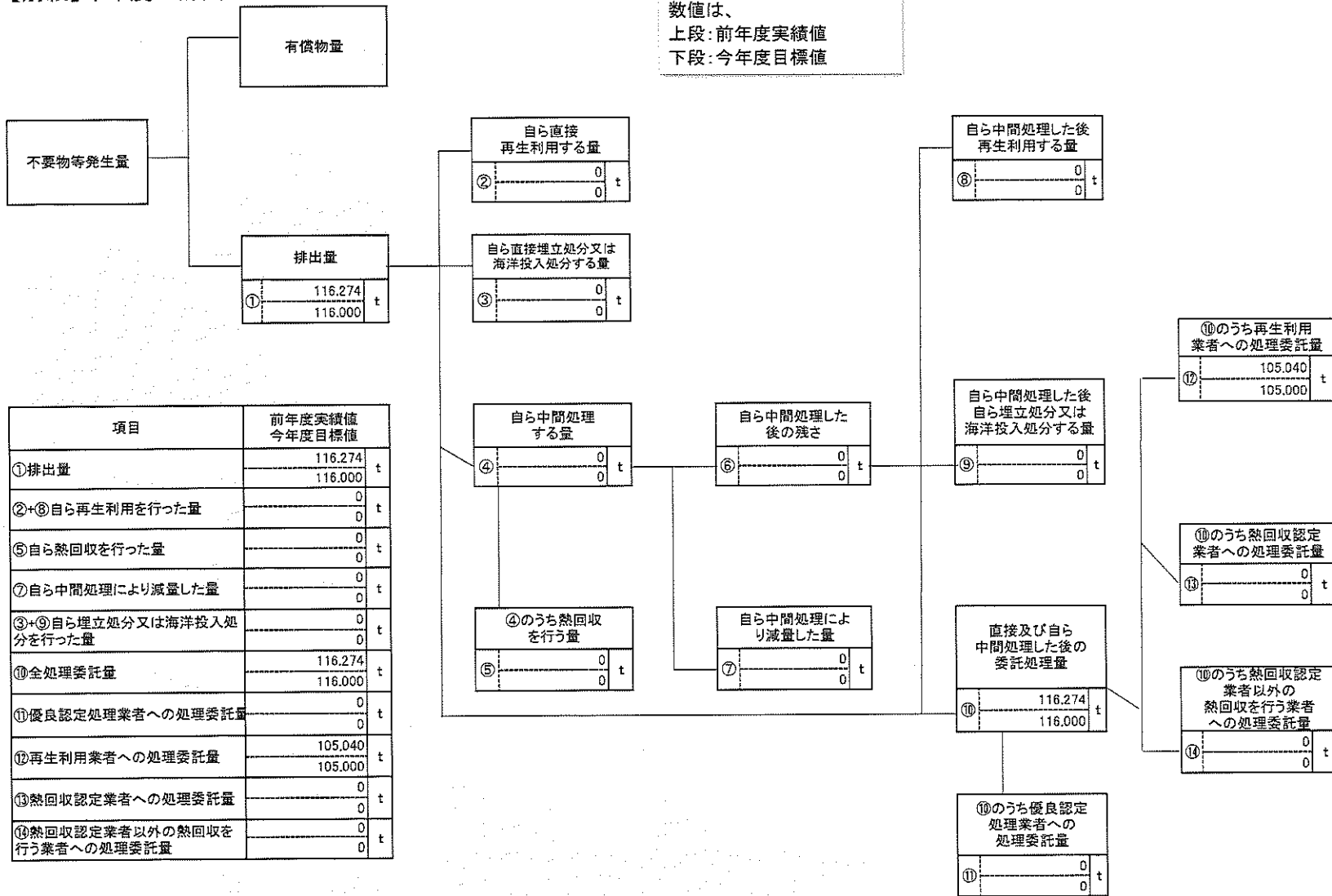
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 木くず)

【別紙】今年度の計画

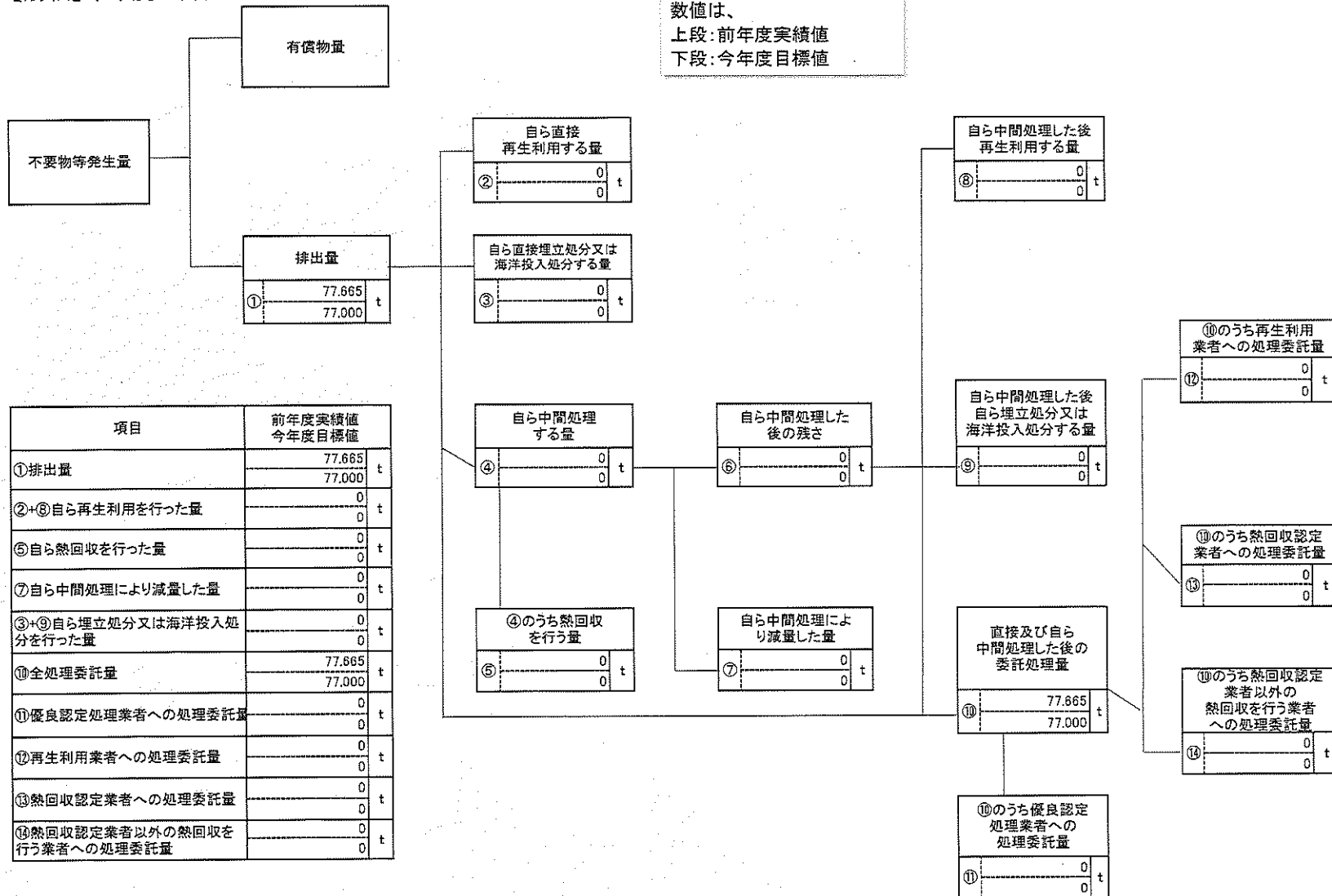
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 廃石膏ボード)

【別紙】今年度の計画

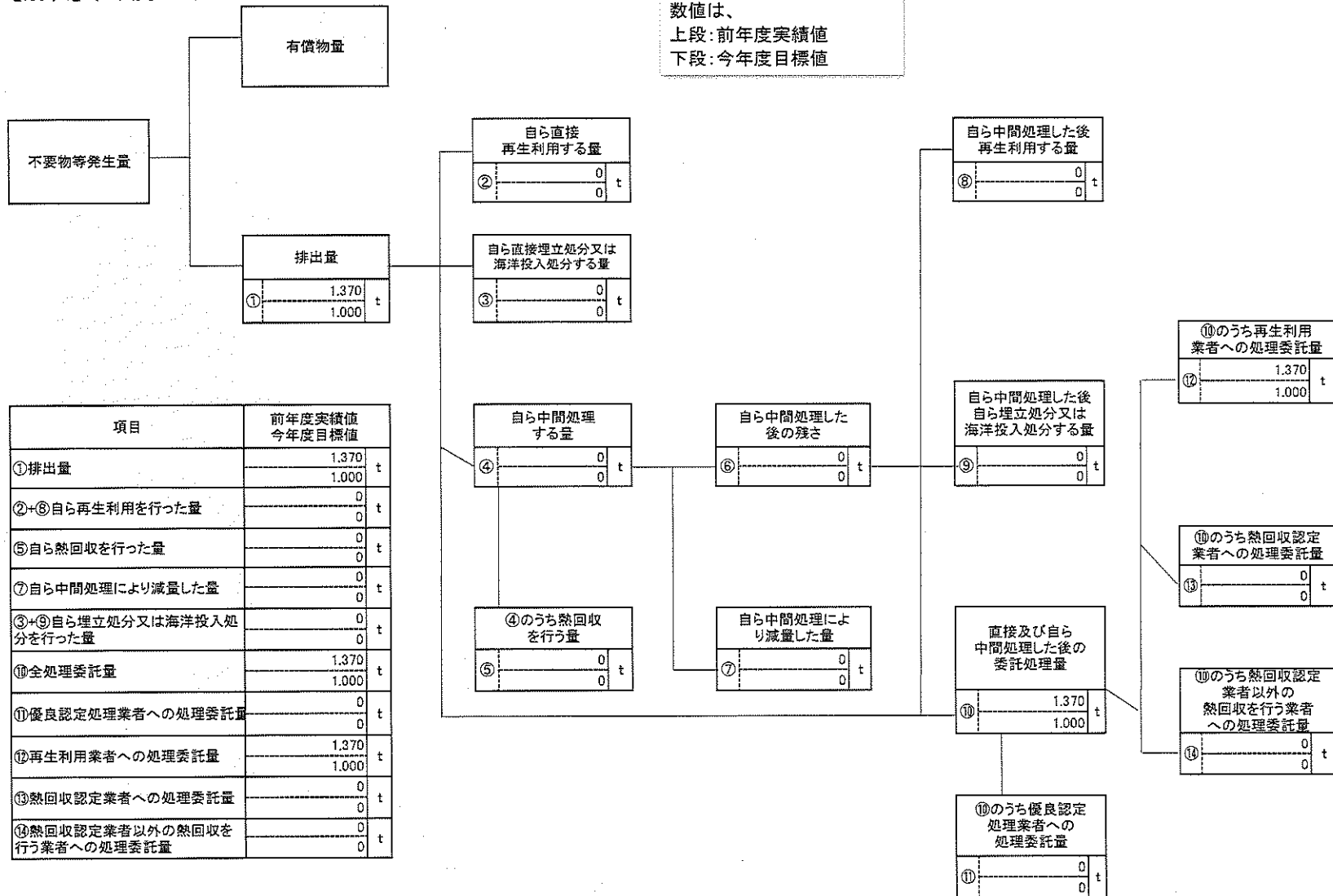
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 混合物)

【別紙】今年度の計画

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



```

graph LR
    A[不要物等発生量] --- B[有償物量]
    A --- C[排出量]
    C --- D["① 0.151 t"]
    C --- E["② 0.100 t"]
  
```

不要物等発生量

有償物量

排出量

①	0.151	t
②	0.100	t

数値は、  
上段:前年度実績値  
下段:今年度目標値

項目	前年度実績値 今年度目標値	
①排出量	0.151	t
	0.100	
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	t
	0	
⑤自ら熱回収を行った量	0	t
	0	
⑦自ら中間処理により減量した量	0	t
	0	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	t
	0	
⑩全処理委託量	0.151	t
	0.100	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.151	t
	0.100	
⑫再生利用業者への処理委託量	0.151	t
	0.100	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	t
	0	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t
	0	

自ら直接 再生利用する量		
②	0	t
	0	

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量	
③	0 0 t

自ら中間処理した後 再生利用する量	
⑧	0
	0

自ら中間処理 する量	
④	0
	0

自ら中間処理した後の残さ	
⑥	0
	0

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量	
⑨	0
	0

④のうち熱回収を行う量	
⑤	0
	0

自ら中間処理により減量した量	
⑦	0
	0

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量	
⑩	0.151
	0.100

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	
⑪	0.151 0.100

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	
⑫	0.151
	0.100

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	
⑬	0
	0

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
⑭	0
	0

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の分別に関する事項

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状		②計画														
前年度（年度）実績		目標														
産業廃棄物の種類		産業廃棄物の種類														
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量														
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量														
（これまでに実施した取組）		（今後実施する予定の取組）														
・該当無し		・予定無し														

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（      年度）実績】																	
	産業廃棄物の種類																	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量																	
	(これまでに実施した取組)																	
②計画	・該当無し																	
	【目標】																	
	産業廃棄物の種類																	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量																	
	(今後実施する予定の取組)																	
	・予定無し																	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】															
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	がれき類	ガラス陶磁器	廃プラ類	金属くず	繊維くず	建設汚泥	石綿含有(安定型)	石綿含有(管理型)	紙くず	木くず	廃石膏ボード	混合物	水銀使用製品
	全処理委託量	1552.27t	4270.28t	133.71t	46.97t	45.27t	5.51t	0.73t	1291.25t	5.69t	0.25t	11.26t	116.27t	77.67t	1.37t	0.15t
	優良認定処理業者への処理委託量					2.09t										0.15t
	再生利用業者への処理委託量	1552.27t	4270.28t	5.31t	8.26t	35.41t	5.51t	0.73t	1167.38t			0.89t	105.04t		1.37t	0.15t
	認定熱回収業者への処理委託量															
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量															
	(これまでに実施した取組) ・木くずの減量については、設計段階で極力プレカットを採用し切片材の減少に継続的に努めた。 ・再生利用を目的とした分別と取引業者との連携を図り廃棄物の減量に努めた。 ・古紙や鉄くず等、専ら再生利用を目的とする有価物取引業者を利用して廃棄物の減量に努めた。															
②計画	【目標】															
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	がれき類	ガラス陶磁器	廃プラ類	金属くず	繊維くず	建設汚泥	石綿含有(安定型)	石綿含有(管理型)	紙くず	木くず	廃石膏ボード	混合物	水銀使用製品
	全処理委託量	1552.00t	4270.00t	133.00t	46.00t	45.00t	5.00t	0.35t	1290.00t	5.00t	0.10t	11.00t	116.00t	77.00t	1.00t	0.10t
	優良認定処理業者への処理委託量															0.10t
	再生利用業者への処理委託量	1552.00t	4270.00t	5.30t	8.20t	35.40t	5.00t	0.35t	1167.00t			0.80t	105.00t		1.00t	0.10t
	認定熱回収業者への処理委託量															
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量															
	(今後実施する予定の取組) ・優良認定処理業者及び認定熱回収業者が、今後運搬可能な地区に認定されれば、その認定業者に委託を検討する。 ・リサイクル可能な産業廃棄物については全て再生利用業者に委託を検討する。															
※事務処理欄																